

群馬の土地改良

No.239 平成28年5月30日



水芭蕉(片品村)

群馬県土地改良事業団体連合会第59回通常総会

平成28年3月22日(火)、「群馬県公社総合ビル」において、群馬県土地改良事業団体連合会第59回通常総会並びに第50回土地改良功労者等表彰式を91会員の出席とご来賓を迎え、盛大に開催しました。

栗林副会長理事による開会の後、安楽岡会長理事から、国が目指す方向の実現に向け、県・市町村・土地改良区と連携して、積極的に貢献をしていくことが必要であり、本会の役割や農業・農村を守り、発展させていくことの重要性・必要性についても、広く県民の皆様にご理解、ご協力いただき、役職員が一丸となり、この難局を乗り越えていきたい旨の挨拶がありました。

続いて表彰式に移り、感謝状3名、功労者7名、優良団体1団体、優良職員8名に対し、安楽岡会長理事から感謝状及び表彰状を贈呈しました。(表彰者についてはp10~11をご参照ください)

受賞者代表として岡崎用水土地改良区理事長 谷弘次様が謝辞を述べられました。

その後、群馬県知事、関東農政局長から祝辞をいただくとともに、ご臨席いただいた来賓の方々の紹介を行いました。

祝電披露の後、富士見北橋土地改良区理事長 須田徹夫様が議長に選出され議事に入りました。

議案第13号では役員補欠選任の上程があり、選考委員会が開かれ、1名の新役員が選任されました。

提出された議案は、全て承認・決定されました。

また、農業農村整備の決議文を中嶋事務局長が読み上げ、第59回通常総会の名において決定され総会は終了しました。



決 議

農業・農村は、国の大本であり、豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健在であってこそ初めて維持されるものである。このため先人達は、農業・農村の健全な発展のために、農地や農業用水排水路など地域資源の維持、向上に向け、献身的な努力を続けてきた。

しかしながら、農業・農村においては、農業従事者の高齢化、減少とともに、高齢者のリタイヤ等による農地の荒廃、担い手不足等による農地、農業用水の管理や継続への影響など、多くの課題に直面している。

このような状況の中、国においては農業・農村の所得倍増を目指し、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」、「国土強靱化」の実現に向け、種々の施策を展開しているところである。

一方、農業農村整備の着実な推進に必要な予算は、平成25年度以降回復基調にあるものの、まだ、農業競争力の強化や施設の長寿命化、防災・減災対策に対する地域のニーズに十分対応しているとは言えない状況である。

我々水土里ネットは、貴重な資源である「水」と「土」を守り、育み、食の安全・安心を確保し、群馬県の農業・農村の発展に向けて、これまで培ってきた技術と経験を最大限活用し、積極的に貢献していく覚悟の下、関係者の総力を結集し、下記事項の実現を、第59回通常総会の名において決議する。

記

- 一、食料自給率の向上と担い手への農地集積の加速化を実現し、コスト低減や高品質な農作物の生産など力強い農業の展開を可能とするため、水田の大区画化・汎用化等を推進すること。
- 一、農地の中間的受け皿である農地中間管理事業に対して、積極的に関与すること。
- 一、多面的機能支払制度の推進に当たっては、十分な予算を確保するとともに、地域協議会や土地改良区がこれまで培った技術と経験など持てる能力を十分発揮できる仕組みとすること。
- 一、国土強靱化の考えに即し、老朽化した農業水利施設の保全整備や耐震化等の防災・減災対策を着実に推進すること。
- 一、農村の資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及、維持管理費の低減に資するため、小水力や太陽光発電を推進すること。
- 一、土地改良区の公益的な役割を評価し、運営基盤の強化と管理体制の機能充実を支援すること。
- 一、これらの政策推進に不可欠な農業・農村の整備を国の重要施策として、必要な予算を確保すると共に、所要の地方財政措置を継続して講ずること。

平成28年3月22日

群馬県土地改良事業団体連合会 第59回 通常総会



新任の御挨拶

群馬県県土整備部長 上原 幸彦

このたびの人事異動により群馬県県土整備部長に就任いたしました。

群馬県土地改良事業団体連合会会員の皆様には、平素より県土整備行政の推進、とりわけ農業集落排水をはじめとする汚水処理事業の推進にあたり多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本県では、人口減少の流れに歯止めをかけ、群馬の未来創生に向け、今年度より、第15次群馬県総合計画「はばたけ群馬プランII」をスタートさせたところです。

県土整備部としましては、「7つの交通軸」の整備・強化を県総合計画に位置づけ、上信自動車道や西毛広域幹線道路をはじめとする県内の主要幹線道路の整備やインターチェンジアクセスなどの交差道路の整備を引き続き、積極的に推進して参ります。

本年度は、東毛広域幹線道路の全線4車線開通や国道17号上武道路の全線開通が予定されており、物流の効率化やブランド力の高い農産物の販路拡大、都市と農山村地域の交流人口の増加による移住促進などが図られるものと考えております。

また、昨年度発生した関東東北豪雨など、近年、頻発、激甚化する大規模な災害を教訓とし、災害リスクを低減し、県民生活の向上や、企業の事業継続性の確保、生産性の向上を図るため、「災害に強い県土を築く防災・減災対策」を、強力で推進して参りたいと考えております。

あわせて、県政の重要課題である「八ッ場ダム」につきましては、平成31年度のダム本体の完成を目指し工事が進められております。県では、地域の生活再建事業の着実な推進に向け、地元長野原町、東吾妻町、国及び下流都県と協力してしっかりと対応して参ります。

さらに、水源県ぐんまとして、優れた群馬の環境の保全・継承を実現するため、「自然環境・生活環境の保全」を県総合計画に位置づけ、汚水処理人口普及率の向上に向けた効果的・効率的な取り組みを推進することとしております。そのためには、下水道や農業集落排水などの効率的、効果的な整備が必要であり、引き続き、土地改良事業団体連合会並びに会員の皆様と連携して汚水処理事業の推進に取り組んで参りたいと考えております。

結びに、会員皆様の御健勝と益々の御発展を祈念いたしますとともに、県土整備行政への一層の御支援と御協力をお願い申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



新任の御挨拶

群馬県県土整備部下水環境課長 清水 昭芳

この度の人事異動により下水環境課長に就任いたしました。

群馬県土地改良事業団体連合会会員の皆様には、日頃から下水環境課所管事業の推進にご尽力、ご協力いただきまして感謝申し上げます。

さて、県土整備部の最上位計画であります「はばたけ群馬・県土整備プラン」において、「自然と共生し、未来に向けて持続的にはばたける地域」を目指す将来像とし、この達成に向けて、「元気」、「安全」、「魅力」、「環境」の4つの取り組みごとに柱となる政策を掲げております。

下水環境課では、環境：「もっと良好な環境」を計画目標に、水源県ぐんまに求められる役割として、水環境を守り、河川等公共水域の水質を保全するため農業集落排水、下水道および合併処理浄化槽等の汚水処理施設整備を推進しています。

県では、本年度から平成29年度にかけて「群馬県汚水処理計画」の見直しを行っており、これまでに農業集落排水で整備した地区を、流域下水道や市町村の単独公共下水道への接続が実施されている状況も踏まえ、関係市町村と連携して内容検討を実施し反映することとしています。

具体的には、「県と市町村の役割分担の明確化」、「集合処理と浄化槽のベストミックス」による効率的整備、「隣接する下水処理区への接続」、「維持管理コストの削減」を含めて検討して事業を推進することで、汚水処理人口普及率の向上を図っていきます。

また、現在、県内に111地区ある農業集落排水の完了施設（平成27年度末）では長寿命化を推進しており、県内の6市町村では、施設の維持管理費の縮減と平準化等を図るため適時・適切な補修・更新が実施されています。

各市町村では、施設の機能診断や最適整備構想策定を進めており、施設の耐震化や施設更新のために、機能強化対策の計画的な実施が予定されています。

来年度も関係市町村でこの調査事業を活用していただき、計画的な施設の機能強化推進を支援していきます。

このように、各地域で市町村合併や人口減少等の状況変化が生じていることで、近隣にある下水道処理場への接続、若しくは、農業集落排水の処理場同士の統合を検討し、汚水処理事業の経営の健全化へつなげていくことも、今後の課題として検討をお願いしたいと考えています。

県としては、引き続き群馬県土地改良事業団体連合会との協力体制をしっかりととり、会員の皆さんと連携を図りながら事業を推進してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

結びに、会員皆様のご健勝と益々のご発展を祈念して新任の挨拶とさせていただきます。



新任の御挨拶

群馬県農政部農村整備課長 片山 茂

4月の人事異動で農村整備課長に就任しました片山でございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、日頃から農業農村整備の推進に多大な御尽力、御協力を賜っており、改めてお礼を申し上げます。

国では、「農林水産業・地域の活力創造プラン（平成25年12月策定）」に基づく「競争力強化対策」及び「国土強靱化対策」を重点的に進めるとともに、TPP大筋合意を受け策定された「総合的なTPP関連政策大綱（平成27年11月策定）」に基づき、「攻めの農業」に転じ、「強い農業づくり」などを目指す施策を推進することとしています。また、農業農村整備においても、農業競争力強化のための農地の大区画化・汎用化や国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化・耐震化対策等の対策を推進することとしています。

さて、群馬県では、農業農村を一層発展させていくため、平成28年度を初年度とする県農政の基本指針となる「群馬県農業農村振興計画2016-2019」を策定し、「元気で魅力あふれる農業・農村の実現」を基本目標に、「力強く成長する農業の実現」、「活力と魅力にあふれる農村の創造」、「安全・安心な食料の生産・確保」の3本を柱とし、各種施策を総合的に展開していくこととしています。

また、農政部の部門計画として、農業農村の生産基盤・生活基盤の保全整備と協働の方向性を示す方針として「ぐんま水土里保全プラン2016（平成28年度～平成31年度）」を策定いたしました。

本プランは、「地域資源を活かす保全整備と活力ある地域づくり」を基本目標に、農業農村の中長期的な将来を見据えた「水」、「土」、「里」の保全整備と、併せて、地域における「協働」を推進し、農地や農業用水などの地域資源を将来へ引き継ぐことを目指します。

そして、本プランに基づき、持続可能な「力強い農業」の実現と、地域における「協働による保全活動」を一層推進し、地域の活力を高めるとともに、「食料の安定的な供給」と「多面的機能を維持・発揮する農業農村」に向け、各種施策を組み合わせることで推進していくことが重要であると考えております。

そのため、県としては、地域の実情に即し、会員の皆様と一体となった取り組みが必要不可欠と考えおりますので、さらなる御理解と御協力をお願い申し上げ、新任の御挨拶といたします。

平成28年度農業農村整備事業予算について

行政の動き（国）

平成28年度の農業農村整備事業は、農業競争力強化と国土強靱化を図るため、農地の大区画化、老朽化した施設の長寿命化・耐震化対策等に2,962億円を計上。農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）は735億円を計上。また、農地耕作条件改善事業（非公共）は、123億円を計上した。合せて農業農村整備事業関係予算は前年比6.5%増の3,820億円となった。

農業農村整備対策予算の概要

（単位：億円）

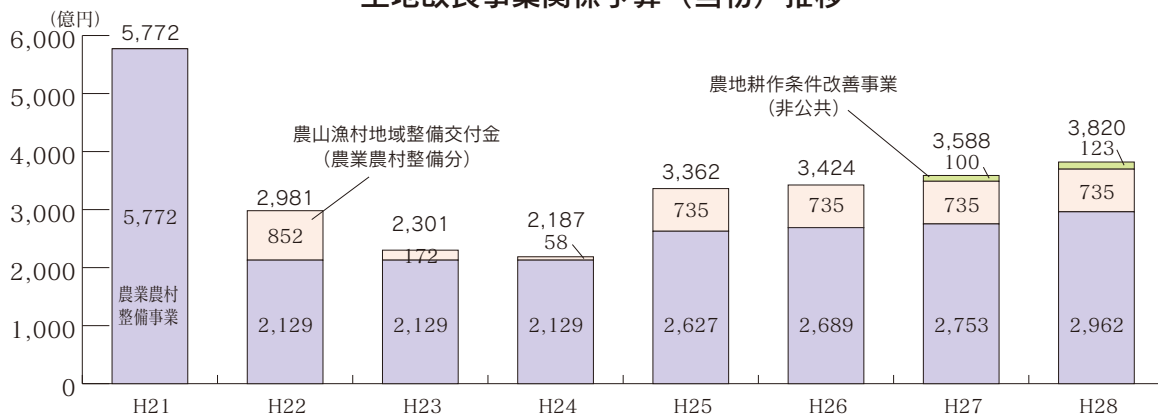
区 分	H27年度当初予算	H28年度概算決定	対前年度比 (%)
農業農村整備事業	2,753	2,962	107.6
農山漁村地域整備交付金 （農業農村整備分）	735	735	100.0
農地耕作条件改善事業（非公共）	100	123	122.7
計	3,588	3,820	106.5

（単位：億円）

区 分	H27年度当初予算	H28年度概算決定	対前年度比 (%)
国営かんがい排水	1,053	1,179	111.9
国営農地再編整備	229	176	76.9
国営総合農地防災	228	262	114.9
直轄地すべり	19	15	81.6
水資源開発	69	70	101.2
農業競争力強化基盤整備			
うち農業競争強化基盤整備	341	365	107.0
うち農業基盤整備促進	225	61	27.0
うち農業水利施設保全合理化	45	69	153.9
うち水利施設整備（農地集積促進型）	6	6	100.0
農村地域防災減災	280	508	181.2
土地改良施設管理	155	156	100.4
その他	102	96	93.7
計	2,753	2,962	107.6

※計数は四捨五入によっているため、端数において合計とは一致しないものがある。

土地改良事業関係予算（当初）推移



ぐんま水土里保全プラン2016について

平成28年度農業農村整備事業当初予算

行政の動き（県）

ぐんま水土里保全プラン2016は、県農政の基本方針となる「群馬県農業農村振興計画2016-2019」の基本目標である「元気で魅力あふれる農業・農村の実現」に向けて、国の農業・農村施策との整合を図りつつ、本県の農業農村整備の方向性を示す指針として位置付けられています。

本プランでは、持続可能な「力強い農業」の実現と、地域の「協働による保全活動」を一層推進し、地域の活力を高めるとともに、「食料の安定的な供給」と「多面的機能を維持・発揮する農業農村」に向け、農業農村の中長期的な将来を見据えた「水」、「土」、「里」の保全整備と、併せて、地域における「協働」を推進し、農地や農業用水などの地域資源を将来へ引き継ぐことを目指しています。

また、本プランは、今後の10年先を見据え、平成31年度を目標とする4カ年計画（平成28年度～平成31年度）としています。

農政部当初予算 20,799,521千円（前年比103.4%）

〔県予算の2.9%〕

基本目標： 地域資源を活かす保全整備と活力ある地域づくり

農村整備課 当初予算

8,524,618千円(前年比97.7%)

〔農政部予算の41.0%〕

◇補助公共事業	5,449,344千円（対前年比97.1%）
◇単独公共事業	760,000千円（対前年比98.4%）
◇一般事業	161,035千円（対前年比94.1%）
◇その他（義務的経費）	2,154,239千円（対前年比99.0%）

『水』の保全整備 1,828,401千円

- 農業水利施設の保全管理
- 土地改良区（施設管理者）の体制強化

『土』の保全整備 4,302,313千円

- 担い手の育成・確保のための計画策定
- 農業生産性を高める基盤整備
- 地域ニーズに即した基盤整備

『里』の保全整備 1,283,655千円

- 災害に強い農村づくり
- 中山間地域の振興

協働 875,725千円

- 農地維持・資源向上

ぐんま水土里保全プラン
2016

「水土里の保全整備」

「協働」

※記載されている金額は当初予算額となります。

はばたけ群馬・県土整備プランの実現に向けて

平成28年度県土整備部における農業農村整備関連当初予算

行政の動き（県）

「はばたけ群馬・県土整備プラン」（以下、「県土整備プラン」という。）は、群馬が未来に向けて大きくはばたいていくために、平成20年度から平成29年度までの10年間「ぐんまの社会資本整備はどのようなやり方で、何を整備していけばよいか」という県の指針として、平成20年3月に策定されました。

計画期間の中間年を迎えた今、東日本大震災の発生など大きく変化する社会・経済・自然環境への対応を図るため、計画期間を5年間スライドさせ、平成25年度から平成34年度までの新しい県土整備プランを策定されたものです。

■元気「もっと、県土に活力を」

「7つの交通軸」の整備を推進するとともに、高速インターアクセス道路や主要な交差道路、軸間連絡道路の整備など「軸の強化」を図り、県民生活の利便性向上と経済・産業活動の基盤を強化します。

○道路整備（道路整備課）

地域の特性や実情に応じ、きめ細やかな道路整備を推進し、「地域活性化のための道路整備」を目指します。

（単位：千円）

項目	平成27年度予算額	平成28年度当初予算	対前年比
広域農道整備	200,000	200,000	100.0%

■環境「もっと、良好な環境を」

水源地ぐんまの水環境を守り、良質な水資源を安定的に供給するため、河川等公共水域の水質を保全する污水处理施設整備を推進します。また、住環境改善に向けて、自動車利用から他の交通手段への転換など県民の良好な生活環境を確保します。

○農業集落排水（下水環境課）

下水道や農業集落排水、合併処理浄化槽などの污水处理施設は、県民の日常生活や産業活動に伴い発生する汚水を処理するものであり、水源地ぐんまに相応しい良好な水環境を守るために污水处理施設の整備を進めます。

（単位：千円）

項目	平成27年度予算額	平成28年度当初予算	対前年比
農業集落排水	463,560	295,106	63.7%

全国土地改良事業団体連合会 第58回通常総会



平成28年3月25日(金)、全国土地改良事業団体連合会の通常総会が東京都千代田区「都市センターホテル」において開催されました。

総会は、二階俊博会長（和歌山県土地改良事業団体連合会会長）の挨拶で始まり、岩手県土地改良事業団体連合会 及川会長が議長に選出され第1号議案から第11号議案まで質疑を経て原案どおり承認可決されました。

最後に決議文を総会の名において採決し総会は終了しました。

全国水土里ネット表彰式

全国土地改良事業団体連合会第58回通常総会終了後、会場を砂防会館「シェーンバッハ・サポー」に移し、第57回全国土地改良功労者表彰・農業農村整備優良地区コンクール表彰・21世紀土地改良区創造運動表彰の表彰式が盛大に開催されました。

本県からは、次の方々が表彰の栄誉を賜りました。

【全国土地改良功労者等表彰】

銀章 岡崎用水土地改良区



谷理事長 山口副理事長 井田事務局長



左部所長

○個人表彰

乗子初男（早川土地改良区 理事長）

井田琴恵（中群馬土地改良区 事務局長）

左部信二（群馬県土地改良事業団体連合会中西部事業所長）

群馬県土地改良事業団体連合会

第50回土地改良功労者等表彰名簿

日時 平成28年3月22日(火)

場所 群馬県公社総合ビル

一 感謝状

(敬称略、順不同)

氏名	所属・役職名
飯塚 武久	農政部参事(中部農業事務所長)
加部 法昭	中部農業事務所 農村整備課長
山田 修	利根沼田農業事務所 農村整備課長
計 3 名	

二 表彰状

1 土地改良事業 功労者

支部名	氏名	所属・役職名
前 橋	望 月 侃	大正用水土地改良区 理事
	中 嶋 清 一	富士見北橋土地改良区 副理事長
高 崎	鈴 木 秀 康	南八幡堰土地改良区 副理事長
	小 林 英 雄	細野原土地改良区 理事
	武 者 米 雄	藤岡土地改良区 前理事
沼 田	金 井 嘉 延	沼田平土地改良区 専務理事
吾 妻	谷 弘 次	岡崎用水土地改良区 理事長
	計 7 名	

2 土地改良事業 優良団体

支部名	団体名	地区面積	組合員数	代表者名
吾 妻	美野原土地改良区	199.0ha	392人	理事長 山本隆雄
	計 1 団体			

3 優良職員(市町村・土地改良区)

支部名	氏名	所属・役職名
前 橋	加 藤 文 朗	大正用水土地改良区 管理課長
	横 塚 有 利	前橋市 農政部 農村整備課 改良第一係長
高 崎	関 口 一 郎	馬庭堰土地改良区 技術員
渋 川	久保田 勤 作	榛東村 建設課長
	石 田 清 六	渋川市 農政部 土地改良課長
沼 田	関 上 隆 宏	昭和村 建設課長
	高 橋 久 子	赤城西麓土地改良区 主幹
館 林	竹 政 浩 文	邑楽土地改良区 補佐
	計 8 名	

4 連合会職員

区分	氏名	所属・役職名
退職者	中嶋 一博	事務局長
	荻野 忍	事務局次長
25年勤続	佐鳥 隆志	技術課 係長
	高木 貴代乃	技術課 係長
	入澤 浩二	中西部事業所 係長
	計 5 名	



平成27年度農地・水保全管理活動表彰式

平成28年3月25日(金)、「群馬県庁 正庁の間」において、県内の活動組織や関係者が出席し、「平成27年度農地・水保全管理活動表彰式」が開催されました。

表彰式では、「農地・水保全管理活動」に取り組む活動組織のうち、他の模範となる優れた活動を行った7組織に対して、群馬県知事からの表彰状が授与されました。

表彰された活動組織

田部井下区地域環境保全組合	(伊勢崎市)	今井地区皆んなでやる会	(嬭恋村)
八崎第二地区環境保全協議会	(渋川市)	桐生地区農地・水・環境保全会	(昭和村)
浜川町第一環境保全推進協議会	(高崎市)	小金井南水とみどりの会	(太田市)
		大荷場むらづくり推進協議会	(板倉町)

平成27年度群馬県水土里保全協議会 通常総会

平成28年3月25日(金)、「群馬県庁」において、平成27年度群馬県水土里保全協議会通常総会が開催されました。

総会には、群馬県、市町村及び関係団体が出席し、宮崎会長（群馬県農政部長）の挨拶の後、議案第1号から議案第7号まで審議が行われ、全て承認・決定されました。

平成27年度ぐんま水土里保全プラン推進事例発表会

平成28年1月27日(水)、「群馬県庁」において、ぐんま水土里保全プランの目標達成に向け、平成27年度ぐんま水土里保全プラン推進事例発表会が開催されました。

県・市町村、土地改良区、関係団体が参加し、各地域での推進事例の発表に熱心に、耳を傾けていました。

- ◆ 「水」の保全整備推進事例 4事例
- ◆ 「土」の保全整備推進事例 3事例
- ◆ 「里」の保全整備推進事例 5事例
- ◆ 協働活動による活力ある地域づくりの推進事例 3事例

事業紹介

土地改良区体制強化事業（新規）

平成27年度までの水土総合強化推進事業に代わり、平成28年度より土地改良区体制強化事業として再編されました。

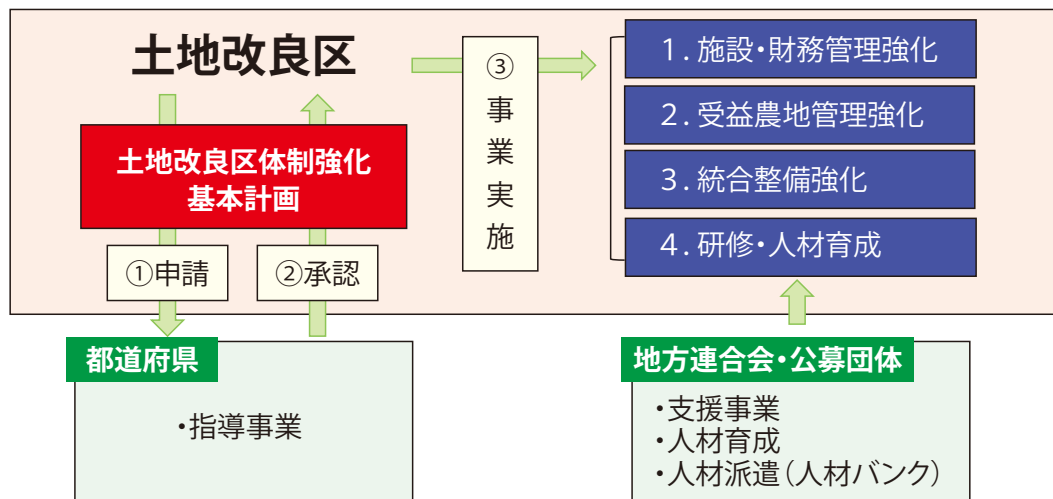
土地改良区が主体的に取り組む組織運営基盤事業実施体制の強化を集中的に支援します。

※平成28年度予算額 4億2,300万円（平成27年度予算額 水土総合強化推進事業 3億1,200万円）

政策の目標

- 土地改良区の機能や役割が効率的・効果的に発揮できるよう土地改良区の組織運営基盤・事業実施体制を強化
- 専任職員不在の土地改良区を今後10年間（平成37年度まで）で解消

事業のフロー



主な内容

1. 施設・財務管理強化対策（施設の診断・管理指導、複式簿記会計の指導等）

計画的・効率的施設管理の実現 ガバナンス強化

2. 受益農地管理強化対策（換地業務に係る現地指導、財産管理制度の活用推進等）

同意徴集の円滑化・事業推進

3. 統合整備強化対策（土地改良区の統合整備等）

組織の活性化

4. 研修・人材育成

組織運営体制の強化

お知らせ

平成28年度 群馬県関係部署職員配置

平成28年度の群馬県の農業農村整備事業関係部署の職員は、次のとおりです。

(平成28年4月1日現在)

農業農村整備事業関係

※○は各係の長

■農政部・農村整備課

課長	片山 茂	水利保全対策主監	内藤 和明	次長(事)	福島 計之	次長(技)	松井 秀夫
管理指導係		企画係		計画評価係		技術調査係	
補佐○	横田 由友	補佐○	大嶋 孝	補佐○	茂木 敏彦	補佐○	阿野 光志
主幹	笠井 正也	主幹	樹下 紀之	主幹	小林 学	主幹	永井 聡
主幹	浅沼 文子	副主幹	今井 巧	主幹	高橋 博光	主任	大塚 勝基
副主幹	福島 敏子					主任	佐々木隆之
主事	菅原悠太郎						

施設保全係

補佐○	稲木 一秀
主幹	小笠原早苗
主幹	伊藤 義貴

整備係

補佐○	篠原 孝幸
主幹	唐澤 崇弘
主幹	三木 昌憲
副主幹	浦野 和幸

中山間振興係

補佐○	渋谷 康弘
主幹	鈴木 治雄
主事	伊藤 早紀

宮城派遣

技師	篠原 樹
技師	阿部 椋汰

■中部農業事務所・農村整備課

課長	中嶋 三樹	次長(事)	富澤 貞夫	次長(技)	岩倉 進		
管理係		計画調整係		整備係		群馬用水整備係	
係長	武井 重樹	係長	勝又 亮一	補佐○	澤下 勲	係長	高山 貴広
主幹	小暮 晃	主幹	大淵 時男	主幹	根津 正伸	主幹	篠原 宏昭
主任	矢嶋 秀幸	主幹	松本 裕弘	主幹	田村 篤史	主任	飯野 徳子
嘱託	中村由佳理	嘱託	福原 享治	技師	剣持 怜	技師	青木 拓也

■中部農業事務所・渋川農村整備センター

センター長	吉田 誠	次長(事)	金井 秀泰	次長(技)	石澤 隆之
管理係		渋川相場整備係		赤城西麓整備係	
係長	小林 清人	補佐○	塩谷 玲子	係長	島村 和政
主幹	佐藤 宏	主幹	剣持 篤志	主幹	星野 勝
主幹	塩野 里美	主任	塩野 雅義	副主幹	角田 信吉
嘱託	松井伊津子	技師	青木 愛	副主幹	山口 公男
		嘱託	富澤 邦男		

■西部農業事務所・農村整備課

課長	女屋 一之	次長(事)	深澤隆太郎	次長(技)	中野 俊之		
管理係		計画調整係		整備第一係		整備第二係	
補佐○	青山 勝	補佐○	中林 静夫	係長	齊藤 健司	補佐○	小林 靖之
主幹	黒澤 由佳	主幹	中沢 成正	主幹	光安 香里	主幹	阿部 明夫
嘱託	堂野まさみ	技師	井上 貴仁	主幹	岡田 和洋	主幹	福田 良和
		技師	中嶋 周	主任	中沢 邦彦	技師	新津 未来
		嘱託	石橋 良正				

■吾妻農業事務所・農村整備課

課長 中野 裕

管理係

次長◎ 永井 伸之
主幹 池田 健次
副主幹 南雲 一哉

計画調整係

係長 大淵 陽一
主幹 村上 貴之
技師 加邊 文郎
嘱託 金井 徹

整備係

次長◎ 油井 祐紀
主幹 安藤 敏
技師 肥留川 惇

■利根沼田農業事務所・農村整備課

課長 磯田 亨

管理係

次長◎ 武田 晃蔵
主幹 狩野 憲司
主幹 原 保弘
副主幹 山口 利恵
嘱託 真下 愛子
嘱託 武井理恵子

計画調整係

係長 中島 洋
主任 綿貫 智志
技師 剣持 諒平

整備係

次長◎ 竹内 厚
主幹 阿左見長嗣
主幹 永井 誠

■東部農業事務所・農村整備課

課長 中村 均 次長(技) 中沢 昇

管理係

次長◎ 布施川義行
主幹 篠澤 雅之
副主幹 堀込 素宏
副主幹 柴崎 恵利
嘱託 笠松めぐみ

計画調整係

係長 吉井 正二
主任 会田 綾子
主任 飯塚 聡紀
嘱託 石原 進一

整備第一係

補佐◎ 永島 豊
副主幹 岡庭 和昭
主任 黒岩 敏彦

整備第二係

係長 田代 宗彦
主幹 田村 優顕
副主幹 星野 知宏

■東部農業事務所・館林農村整備センター

センター長 播磨 幸三 次長(事) 小柏 春光

管理整備係

係長 綾部 賢二
主幹 神谷 晃生
主幹 小林 光好
主幹 横堀 裕
技師 齋田 圭太
嘱託 阿蔵 一夫
嘱託 仁木 敏代

基幹農道事業関係

■県土整備部・道路整備課

課長 若田部純一 次長(事) 酒井 弘久 次長(技) 金子 弘

県道係

係長 石坂 幸喜 主幹 黒澤 友邦 主幹 加嶋 栄樹 主任 金井 崇治
主任 増田 明仁

農業集落排水事業関係

■県土整備部・下水環境課

課長(技) 清水 昭芳 調整主監(技) 野口 直行 次長(事) 石井 浩一 次長(技) 木村 正明
下水道管理係長

農集排・浄化槽係

補佐(技) 高橋 薫 主幹(技) 住谷 宗一

平成28年度 本会人事異動

平成28年度、人事異動は次のとおりです。

(平成28年4月1日付)

新所属および職名	旧所属および職名	氏名	備考
<本所>			
事務局長	調査・換地課 課長	池上 貴裕	昇任
事務局次長（総務課長兼務）	利根・吾妻事業所 所長	小澤 俊一	昇任
調査・換地課			
課長	総務課 課長	丸橋 昇	
係長	技術課 係長	櫻井 克弘	
技師	利根・吾妻事業所 技師	津久井 駿介	
<事業所>			
中西部事業所			
係長	利根・吾妻事業所 係長	齋藤 崇	
利根・吾妻事業所			
所長	調査・換地課 補佐	木暮 昭雄	昇任
係長	中西部事業所 係長	篠原 隆二	
係長	調査・換地課 係長	中川 勲	

◆退職◆

(平成28年3月31日付)

氏名	所属・役職名
中嶋 一博	事務局長
荻野 忍	事務局次長

◆新任◆

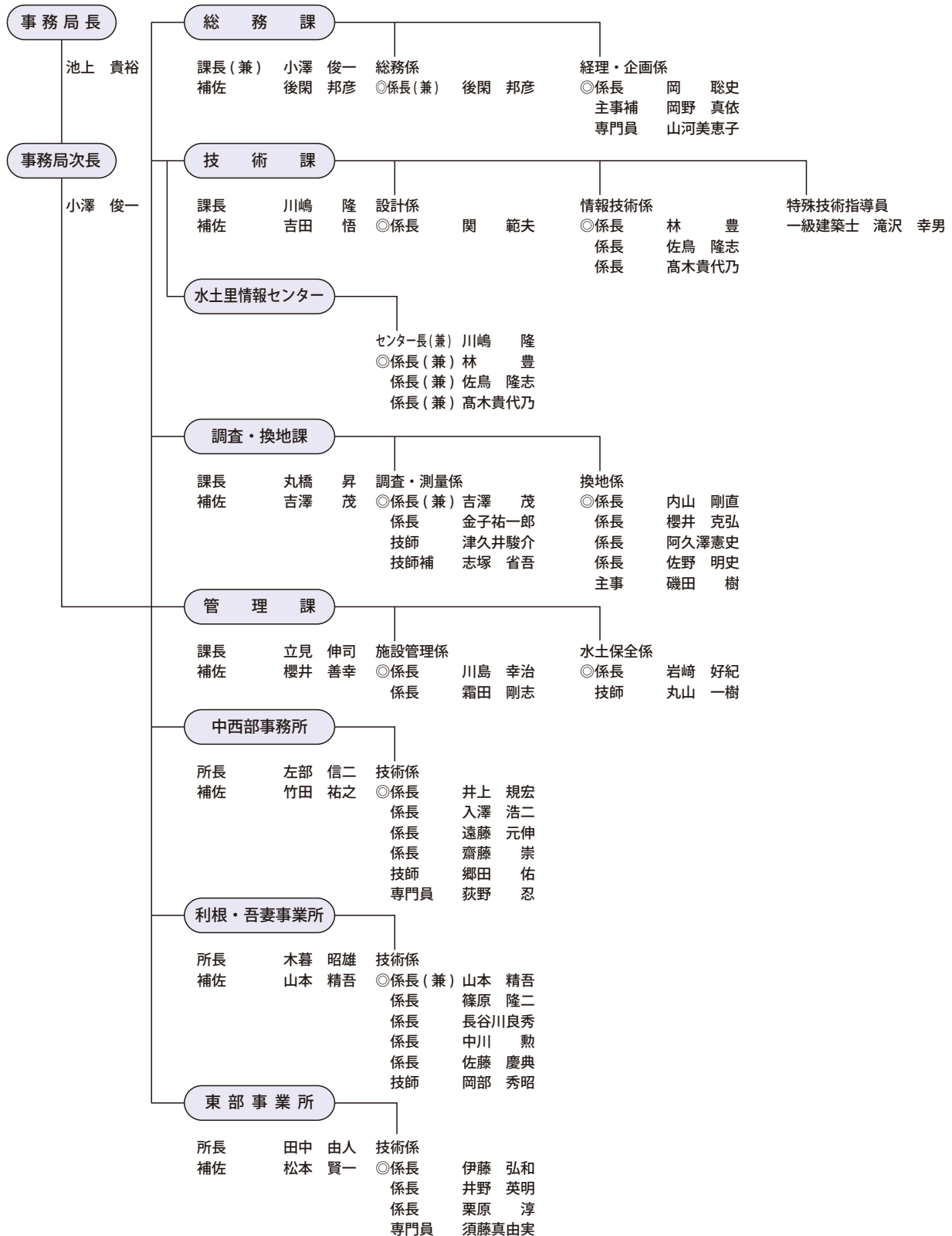
(平成28年4月1日付)

氏名	所属・役職名
岡野 真依	総務課 主事補

群馬県土地改良事業団体連合会事務局機構図

(平成28年4月1日現在)

◎はチーフ係長



本会新役員を紹介

平成28年3月22日(火)に開催された第59回通常総会において役員の新役員が選任されました。

任期：平成30年3月31日まで

役職名	氏名	その他の役職名
理事	内林 房吉	藤岡土地改良区理事長

新規採用職員を紹介



総務課 岡野真依

本年度の4月より、群馬県土地改良事業団体連合会、総務課の新規採用職員となりました岡野真依です。

高校卒業と同時に社会に出て、新規採用職員も私ひとりだけだったのでわからないこと

だらけでとても不安でした。

さらに、慣れないスーツと運転で緊張してばかりでした。

しかし、総務課をはじめとする諸先輩方は、マナーもままならない私をととても優しく迎えてくれ、プリンターの使い方や作業の仕方など、一つ一つ丁寧に教えてくださいました。

また、他の部署の方もたくさん声をかけていただき、少しずつ緊張も解けていきました。

入社して2ヶ月経ったいまは、まだ先輩方の顔と名前を覚えることと、総務課の仕事を覚えることに努めています。

まだまだ未熟者で、たくさんのご迷惑をかけてしまうと思いますが、少しでも早く仕事に慣れ、役に立てるよう精一杯頑張っていきますので、ご指導よろしくお願ひいたします。

主な会議・行事の報告と平成28年度年間予定

平成28年
3月実施

開催日	会議・行事名
3月22日	群馬県土地改良事業団体連合会第59回通常総会 並びに第50回土地改良功労者等表彰式
3月25日	全国土地改良事業団体連合会第58回通常総会・全国水土里ネット表彰式
3月25日	平成27年度農地・水保全管理活動表彰式
3月25日	平成27年度群馬県水土里保全協議会通常総会

平成28年度の主な会議・行事の予定は、下記のとおりです。

開催日	会議・行事名
平成28年	
6月	平成28年度『第1回監事会及び監査』
//	利根川水系農業水利協議会群馬県支部委員会並びに第18回通常総会
7月	平成28年度群馬県土地改良施設管理運営体制強化委員会
//	平成28年度群馬県受益農地管理強化委員会
//	平成28年度換地計画実務研修会
//	平成28年度『第1回理事会』
8月	群馬県農業集落排水事業連絡協議会第26回通常総会
//	平成28年度土地改良区体制強化事業複式簿記促進研修会
10月	第39回全国土地改良大会 in 石川(10/25～26)
11月	平成28年度土地改良区等役職員研修会
//	平成28年度群馬県土地改良事業団体連合会農業農村整備部会及び特別講演会
//	平成28年度『第2回理事会』
12月	平成28年度『第2回監事会及び監査』
平成29年	
2月	平成28年度『第3回理事会』
3月	群馬県土地改良事業団体連合会第60回通常総会並びに第51回土地改良功労者等表彰式

※本会主催については、緑色で表示しています。

編集後記

高崎市内を流れる長野堰用水が、「国際かんがい排水委員会」の認定する「世界かんがい施設遺産」の国内候補に選ばれました。

11月にタイで行われる国際かんがい排水委員会国際執行理事会で結果が発表されます。

長野堰が世界かんがい施設遺産に登録されれば、県内では雄川堰（甘楽町）に次いで2例目となります。

（企画委員会・作業部会）

水士里ネット 群馬

群馬県土地改良事業団体連合会
URL:<http://www.kakasi.or.jp/>

本 所	〒371-0837 群馬県前橋市箱田町350 TEL027-251-4105 fax 027-251-4139
中西部事業所	〒371-0837 群馬県前橋市箱田町350 TEL027-251-4106 fax 027-251-4222
利根・吾妻事業所	〒378-0031 群馬県沼田市薄根町3507-1 TEL0278-23-2161 fax 0278-23-2180
東部事業所	〒373-0813 群馬県太田市内ヶ島町345 TEL0276-48-4400 fax 0276-48-4401



夢ふくらまそう・未来はぐくもう
ぐんまの農業農村整備